

## 東工大 VG 目黒区総合防災訓練 活動報告

### ■実施概要

実施日時：2014年8月31日 午前9時から午前11時30分

会場：目黒区立東山小学校（目黒区東山2-24-25）

参加者：5名（東工大VG）

### ■活動内容

東工大 VG の活動テーマの一つとして「防災」があります。東日本大震災から3年半が経過し人々の防災への関心が低下しています。しかし、災害への正しい理解や日頃の備えが大事であると、東工大 VG は考えております。そのような目的意識を持って、昨年引き続き目黒区の総合防災訓練に参加しました。昨年同様、東工大 VG はアルファ化米（五目ご飯）の炊き出し訓練と救出救助訓練の補助を行いました。

炊き出し訓練では、都立目黒高校の生徒と地域住民の方々と一緒にアルファ化米の炊き出し及びパックへの盛り付け作業を行いました。目黒区役所の係の方より、①アルファ化米の炊き出し方法、②災害時湯沸し器の操作方法、③アレルギー体質の人に対応するためアルファ化米は材料ごとに袋詰めされていること等を説明して頂きました。実際に作業始めると、米の量の多さと手際良く盛り付けることは想像していたよりも難しく、苦戦しました。災害時に手際良く行動することの大変さを考えさせられました。

救出訓練では、警視庁の部隊の補助として、倒壊した建物から救助されてけが人を担架で搬送する役目を果たしました。警視庁の部隊が、特殊機械で模型の家を解体して救助する一連の流れを間近でみることで大変勉強になりました。

また、空いた時間には近くのブースを見て回りました。NTT 東日本のブースでは、災害伝言ダイヤル 171 の体験をすることができました。メンバー一同、171 のサービスを自体は知っていましたが、詳細な使用方法は知りませんでした。実際に体験し理解を深めることの大切さを再認識しました。

防災訓練終了後には、青木目黒区長にお声を掛けて頂き、私達大学生の様な若い世代が防災に対して意識を持つことの大切さと、東工大 VG の活動への応援の言葉を頂きました。

### ■参加したメンバーの感想

- ・災害時の混乱に対処する難しさを肌で感じる事ができました。災害時の指揮系統や対処法がはっきりしない中では、人々との協力や意思疎通が大事であると改めて思いました。
- ・災害が起きた場合に備えて、事前に準備しておくことが重要であると再認識できたので、今回の訓練に参加できてよかったです。また、アルファ化米の調理法や緊急時における利便性を知ることができ、大変ためになりました。
- ・災害時に使えるサービスや炊き出しの仕方を学べたのでよかったです。

・炊き出し訓練では災害時は知っている人知らない人関係なく協力していくことが大事だ  
と思った。